

令和6年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間 最終)

郷原中学校区 校番6

学校名 郷原小学校

重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
*** 確かな学び	主体的に学ぶ児童の育成	基礎学力の定着 (算数科図形領域) 表現力の向上	○教科書ワークシートテスト70点以上の児童の割合は、全学年平均で93%であったが、学年によっては、基準を下回る学年もあった。 ○1学期末の振り返りの分析では、質の高い振り返りを書くことができた児童は79%であり、昨年度の同時期に比べ増加しているものの、字数目標達成児童は67%と書くことに苦手意識がある児童もあり、課題がある。	○チャレンジタイムや水曜日の放課後の補充学習(城山タイム)を活用し、基礎学力や読解力を伸ばす。補充学習はつまづいている児童に柔軟に参加を呼びかける。 ○児童の学力、表現力向上のため、①導入の工夫 ②発問の工夫 ③関わりの工夫 ④振り返りの工夫を行い、授業改善を図る。教員同士で授業参観や実践交流等を積極的に行う。 ○充実した体験を行い、表現の場や表現する時間を保障する。相手意識や目的意識を明確にモチ意欲的に表現する活動を仕組む。 ○算数科の単元の終わりには書いて振り返る活動を位置付け、振り返る意義や振り返りの評価方法を児童と共有する。
** 豊かな心	人との関わりから学ぶ児童の育成	礼儀・規範意識を身に付けた児童の育成 ふるさと郷原を愛する児童の育成	○毎月の生活目標で意識できている児童が多い。項目ごとに差があり、ろうか歩行が1番値が低く60%の肯定的回答であった。 ○肯定的回答が66%と目標を下回っている。肯定的回答をしている児童は、ほとんど自然と答えており、今年度まだ総合的な学習の時間などで地域の自然にふれあえていないことが原因と考える。	○生活目標の重点化を図り廊下歩行の「あるクマ」「しずカニ」「みぎがワニ」という合言葉を徹底させ、児童にもろうか歩行を意識させる。 ○地域と触れ合う機会は、年間のスケジュールに組み込まれているので、地域の自然と関わる時に、地域の人の思いや願いを聞く機会を増やし、児童に地域の良さを再認識させる。
* 健やかな体	自らの健康を考えて安全に行動できる児童の育成	進んで健康・体力づくりに努める児童の育成 自分の命は自分で守ろうとする児童の育成	○目標の数値は、クリアしている。しかし、学年別にみると4年生の数値が県平均よりも下回っている種目が多い。種目では、50m走が弱い。 ○「呉市防災教育カリキュラム」に基づいた授業の実施率は100%であった。7月の防災週間に実施期間を設定し、全クラスでそれぞれ取り組みを実施することができた。	○今までの取組を継続して行うことで、体力の向上を図っていく。今後は、マラソン大会への取組である5分間走も始まる。自身の記録を残すことで、意欲をもたせ走力の改善につなげたいと考えている。 ○今後も取組を継続し、教育活動全体を通して、防災教育を実施していく。
業務改善	教職員が意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	児童と向き合う時間の確保 長時間勤務の削減	○教職員アンケートにおいて「確保できている」と肯定的に回答した教職員の割合は83%であり、指標(80%以上)を達成することができた。SSS(スクール・サポート・スタッフ)やICT支援員等による業務支援は大きな支えとなっている。 ○時間外勤務45時間を超える教職員の割合は28%であり、指標(30%以下)を達成することはできた。	○教職員のタイムマネジメントの向上を図りつつ、「週1の連絡会」「企画委員会」等の時間短縮を継続実施していく。 ○水曜日程(日課の時間短縮)や時数削減等を活用し、放課後の時間確保に努めていく。 ○「何でも聞ける」「相談できる」雰囲気や教職員全員でつくり、業務の効率化をチームで進めていく。